

第3章 評価の結果に対する対応方針

「第2章 評価の結果」に示した委員からの意見について、以下のように対応して参りたい。

■ 国総研の取り組み方針について

- ・国総研ホームページ等に災害活動支援の概要の蓄積を継続していくことに加え、災害活動等報告をとりまとめることにより、将来の防災・減災技術レベルの向上に資する資料を引き続き公表する。
- ・産学における技術開発動向を把握し、社会資本分野で唯一の国の研究機関として、関係機関が重複なく効率的に研究を進め成果を得られるよう関係者との調整を進める。
- ・国総研にとって研究は基本的な活動と認識しており、平成26年度は650編以上の論文等を発表した。一方、その研究の成果が実社会へ適応されることにより研究にフィードバックされ、更なる研究へとつながることから、研究以外の機能についても重要と認識している。引き続き技術支援、相談、災害活動といった活動が研究に正の効果をもたらすよう工夫しながら、研究の更なる推進に努める。

■ 研究体制について

- ・現在の課題のみならず先を見据えた課題をとらえた研究も重要と認識しており、萌芽的、新領域的な課題などについて引き続き幅広く取り組む。
- ・人材育成については、特に若手職員の研究発表を様々な場面で積極的に行うよう促し、プレゼン能力や研究に対するモチベーションの向上を図るとともに社会に対するアウトカムを意識した研究姿勢の醸成に努める。また、研究課題の内容や性質に応じ他機関との連携といった手法も取り入れ、効果的な研究の推進に努める。

■ 研究・技術基準等の作成について

- ・技術や指針等を作成するにあたっては、利用する側の視点に立ち、使いやすさについても配慮する。
- ・国総研として重要と考えている5つの分野の研究を進めるにあたり、防災減災・インフラの維持管理等について頂いたご指摘に留意しながら更なる研究の充実等を図る。

■ 研究成果の発信について

- ・国総研の存在感の向上、職員のモチベーションの向上、更には社会の政策づくりへの信頼感の向上等のため、インフラ老朽化問題・インフラマネジメント技術等を一般市民、青少年、子供に判りやすく伝達する、研究所のホームページの見やすさ・使いやすさを向上させる、研究所の草木の手入れアメニティの向上等の頂いたご指摘にも留意しながら広報活動について更なる充実を図る。

■ 技術支援について

- ・技術相談窓口は、現場の課題を把握する重要な機会であると認識している。マンパワーにも留意しつつ、研究成果に反映できるよう引き続き積極的に取り組む。

■ 国際活動について

- ・欧米や東南アジア等の研究機関と研究協力を実施している。今後とも海外の研究機関の連携を図っていく。また、国総研資料の概要を英語でも記載するようにしているところであり、引き続き国際的な情報発信に努める。

国土交通省国土技術政策総合研究所